



「ロケット」をテーマにした特別授業

— 放課後塾ハル小学部がイベントを実施 —

放課後塾ハル小学部は特別授業として、テーマ学習「ロケット編」を8月21日に国見小学校体育館で行いました。

当日は国見小5・6年生17名が参加。株式会社Funding Baseの新免琢弥さんが講師を務め、宇宙や無重力、ロケットの仕組みや日本の宇宙開発の父と呼ばれた糸川英夫氏の生涯を学びました。

放課後塾ハルのメンバーも協力し、ペットボトルロケットも制作。子どもたちは講師やスタッフの説明を真剣に聞き、ロケットを遠くまで飛ばせるよう、集中



1_水しぶきを浴びながらの打ち上げ
2_講師の話に耳を傾ける児童たち
3_集中してロケットを制作
4_誰が一番遠くまで飛ばせるかな



して制作に取り組んでいました。打ち上げは国見小の校庭で行われ、勢いよく水と空気を噴き出しながらロケットが打ち上がると、子どもたちからは大きな歓声が上がりました。

放課後塾ハル小学部は8月25日から小学5・6年生を対象に授業を開始し、約40名の小学生が週1回の授業を受講します。算数などの教科だけでなく、自分たちの興味関心のあるテーマについて、より深く学ぶ「テーマ学習」など、子どもたちの探求心や興味・関心を育てる授業も行われます。

「放課後塾ハル」に新しい仲間

— 新たに地域おこし協力隊が着任 —

国見町地域おこし協力隊の着任式が8月2日、国見町役場で行われました。新たに着任した逢坂巴菜子さんは、6月に開塾した「放課後塾ハル」中学部の授業を担当します。

逢坂さんに、今後の活動内容や抱負を聞きました。

■町の地域おこし協力隊に応募したきっかけは

学校や家庭ではない「第三の場所」を作りたいという夢がありました。その夢を叶えられると思ったのが地域おこし協力隊、そして公営塾での活動でした。生徒の伴走者として生徒が持つ「目標」「夢」を共に模索し、そしてそれらを最大限に広げていきたいと思い応募しました。

■今後の活動について教えてください

まずは放課後塾を通し、生徒たちの学力向上に貢献したいです。そして学力の向上だけでなく、勉強の先にある生徒たちの「目標」「夢」を一緒に作り上げ、自走していけるように応援したいです。そして個人的なことではありますが、自分自身が第一に国見町のファンになり、町の良さを発信していけたらと思っています。

■町の皆さんへひとことお願いします

国見町に来てまだ間もないですが、人の温かさそして豊かな自然がとても素敵な町だと感じています。これからより多くの町の良さを知り、発信していきたいと思っています。今は分からないことだらけですが、焦らず着実に活動をしていきたいです！

町の皆さん、町内で見かけたときは是非お声がけいただけると嬉しいです。



地域おこし協力隊
逢坂 巴菜子さん

おおさかはなこ・根室市出身(23歳)
MonashUniversityAustralia(リベラルアーツ学部)卒業。学生時代は日本人生徒や海外生徒の問題解決型学習のサポートなどを行う。
趣味は映画観賞・音楽鑑賞



えんどう ふうな



たんの ゆうり



さとう さほ



かみかんだ そうた

くにみ幼稚園 「花火」 (年中組)

心なまをたのむ



地域おこし協力隊
矢部 高士

地域おこし協力隊活動日記 vol.12

子どもたちの可能性を信じて



こんにちは、地域おこし協力隊の矢部高士です。この国見町に移住して早5か月が経ち、いろいろな所で国見の良さに気づく日々です。先日は町の特産である桃をいただき、思わず舌鼓を打ちました。

現在、私は「放課後塾ハル」のスタッフとして従事させていただいており、数学を教えています。6月に開塾した「放課後塾ハル」も2か月が経ち、今は中学3年生が受験に向け、週2日で夏期講習に通い、学習に励んでいます。また、秋口からは中学1年生と2年生の受け入れを開始するために準備をしています。



私は、「放課後塾ハル」で授業や面談を通して、国見の子どもたちは素直でまっすぐである印象を受けました。その上で抱くものは、一人ひとりの可能性を広げてほしいという思いです。そのためにも、まずは私自身が可能性を信じて、生徒と伴走したいと考えています。

まだ至らぬ点は多くありますが、日々活動に励んでまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

